【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年3月14日(2023.3.14)

【国際公開番号】WO2018/226468
【公表番号】特表2020-523739(P2020-523739A)
【公表日】令和2年8月6日(2020.8.6)
【出願番号】特願2019-567599(P2019-567599)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｈ　1/46(2006.01)
Ｈ０５Ｈ　1/00(2006.01)
Ｈ０１Ｌ 21/3065(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｈ　1/46　　Ｒ
Ｈ０５Ｈ　1/00　　Ａ
Ｈ０５Ｈ　1/46　　Ｌ
Ｈ０１Ｌ 21/302１０１Ｃ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和5年2月24日(2023.2.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５７】
ここで、図６を参照すると、プラズマの電圧（Ｖ）および電流（Ｉ）が、ＶＩプローブによって動作中にサンプリングされている。従来のＴＣＰパルス化アプローチでは、マスク期間の後に起きるデータ取得期間中に、スイッチＳＷ１～ＳＷ４の内の１つがアクティブである時に、ＲＦの電圧および電流（ＶＩ）の測定値が取られる。マスク期間およびデータ取得期間は、固定された時間間隔またはＯＮ時間（T_{ON}）の特定の割合に対応する。さらに、インピーダンス同調およびＴＣＣＴ比制御のための一般的なセットの制御ゲインが、パルス化窓全体に適用される。測定値は、固定数の生データポイントにわたって平均される。このアプローチは、一般に、特定の周波数に対して、デューティサイクルが約５０％である時に良好に機能する。